

# 四半期報告書

(第88期第2四半期)

自 平成28年7月1日

至 平成28年9月30日

はごろもフーズ株式会社

## 表紙

## 第一部 企業情報

## 第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1

## 第2 事業の状況

1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	3

## 第3 提出会社の状況

## 1 株式等の状況

(1) 株式の総数等	5
(2) 新株予約権等の状況	5
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	5
(4) ライツプランの内容	5
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	5
(6) 大株主の状況	6
(7) 議決権の状況	6

2 役員の状況	7
---------	---

## 第4 経理の状況

## 1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	11
四半期連結包括利益計算書	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13

2 その他	18
-------	----

## 第二部 提出会社の保証会社等の情報

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成28年11月11日
【四半期会計期間】	第88期第2四半期（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）
【会社名】	はごろもフーズ株式会社
【英訳名】	HAGOROMO FOODS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 池田 憲一
【本店の所在の場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【最寄りの連絡場所】	静岡県静岡市清水区島崎町151番地
【電話番号】	(054)354-5000
【事務連絡者氏名】	常務取締役サービス本部長 後藤 佐恵子
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） はごろもフーズ株式会社東京支店 （東京都中央区八丁堀一丁目5番2号 はごろもビル） はごろもフーズ株式会社名古屋支店 （愛知県名古屋市中区新栄町二丁目9番地 スカイオアシス栄） はごろもフーズ株式会社大阪支店 （大阪府大阪市都島区片町二丁目2番48号 J E I 京橋ビル）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第87期 第2四半期 連結累計期間	第88期 第2四半期 連結累計期間	第87期
会計期間	自平成27年4月1日 至平成27年9月30日	自平成28年4月1日 至平成28年9月30日	自平成27年4月1日 至平成28年3月31日
売上高 (千円)	39,321,511	41,473,711	77,849,172
経常利益 (千円)	1,847,358	2,201,204	3,089,233
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 (千円)	1,231,663	1,533,343	1,787,555
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	871,537	1,411,801	△11,975
純資産額 (千円)	23,771,280	23,919,632	22,745,419
総資産額 (千円)	46,453,934	46,881,056	45,603,062
1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	65.42	81.45	94.95
潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	51.2	51.0	49.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△197,225	1,690,732	2,053,616
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△287,644	△410,173	△654,479
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△317,148	△1,276,898	△1,236,961
現金及び現金同等物の四半期末 （期末）残高 (千円)	705,278	1,672,075	1,668,715

回次	第87期 第2四半期 連結会計期間	第88期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成27年7月1日 至平成27年9月30日	自平成28年7月1日 至平成28年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	28.99	30.64

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
- 2 売上高は消費税等は含みません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また主要な関係会社に異動はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

平成28年3月期の有価証券報告書（平成28年6月29日提出）に記載の内容から重要な変更がないため、記載を省略しています。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況及びキャッシュ・フローの状況

##### ①業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループは、前期に引き続き、テレビ・新聞・雑誌・インターネットなどの媒体を活用した広告宣伝活動を積極的に展開し、ブランド力の強化を図りました。

テレビCM「シーチキン食堂」を中心としたメニュー提案活動を展開したことや、個食ニーズにマッチした小容量のレトルトパウチの新製品を積極的に市場に投入し、消費者の需要喚起に努めました。この結果、売上高は414億73百万円（前年同期比5.5%増）と好調に推移しました。

利益面では、主材料であるきはだ鮭やかつおの価格が安定して推移したことに加え、一部原材料の価格が下落したことなどにより、売上原価率は63.1%と前年同期比1.5ポイント低下しました。

広告宣伝活動を積極的に展開したことで販売費が増加しましたが、営業利益は20億71百万円（前年同期比20.8%増）、経常利益は22億1百万円（同19.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億33百万円（同24.5%増）となりました。

なお、当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の開示は行っていないが、製品群別の販売動向は以下のとおりです。

表：製品群別売上高（連結）

（単位：千円、%）

製品群		前年同期		当第2四半期		増減		
		金額	構成比	金額	構成比	金額	率	
製品	家庭用食品	ツナ	17,278,850	43.9	18,054,356	43.5	775,505	4.5
		デザート	2,499,616	6.4	2,678,600	6.5	178,984	7.2
		パスタ&ソース	3,538,139	9.0	3,810,093	9.2	271,954	7.7
		総菜	3,575,675	9.1	4,034,904	9.7	459,228	12.8
		削りぶし・海苔・ふりかけ類	2,674,370	6.8	2,771,736	6.7	97,365	3.6
		ギフト・その他食品	1,809,499	4.6	1,940,241	4.7	130,741	7.2
		計	31,376,151	79.8	33,289,932	80.3	1,913,781	6.1
	業務用食品	6,811,379	17.3	6,976,954	16.8	165,575	2.4	
	ペットフード・バイオ他	854,931	2.2	954,128	2.3	99,196	11.6	
	計	39,042,462	99.3	41,221,015	99.4	2,178,553	5.6	
その他	279,049	0.7	252,695	0.6	△26,353	△9.4		
合計	39,321,511	100.0	41,473,711	100.0	2,152,200	5.5		

（注）上記金額は消費税等を含みません。

「ツナ」では、引き続き「シーチキン食堂」と連動したメニュー提案と「野菜をおいしくシーチキン」などの消費者キャンペーンが奏功し、販売が堅調に推移しました。この結果、売上高は前年同期比4.5%増加しました。

「デザート」では、「朝からフルーツ」シリーズやフルーツパウチなど個食ニーズにマッチした製品の販売が好調に推移し、売上高は同7.2%増加しました。

「パスタ&ソース」では、主力の結束タイプのスパゲッティの販売が好調に推移しました。ミートソース缶の販売が復調したことや、新製品の個食タイプのパウチソースの発売が奏功し、売上高は同7.7%増加しました。

「総菜」では、料理レシピサイトとのタイアップなどによるメニュー提案活動を強化した「シャキッとコーン」や個食タイプの健康パウチシリーズの販売が大きく伸長し、売上高は同12.8%増加しました。

「削りぶし・海苔・ふりかけ類」では、削り節の新ブランド「はごろも舞」の販売が好調に推移しました。噛み切りやすい海苔「かみきれ〜」やきざみ海苔の販売が堅調に推移し、売上高は同3.6%増加しました。

「ギフト・その他食品」では、取り扱い店舗が増加した包装米飯「パパッとライス」の販売が好調に推移しました。中元期のギフトの販売が復調し、売上高は同7.2%増加しました。

「業務用食品」では、デザート類の販売が減少しましたが、CVS・外食チェーン向けのツナやスイートコーンの販売が好調に推移し、売上高は同2.4%増加しました。

「ペットフード・バイオ他」では、フィッシュミール等のバイオ製品の販売が減少しましたが、国産品に特化したペットフードが大きく伸長し、売上高は同11.6%増加しました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ、3百万円増加し、16億72百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の営業活動により増加した資金は16億90百万円（前年同期は1億97百万円の減少）となりました。これは主に、未払金の減少や売上債権が増加したものの、税金等調整前四半期純利益の計上やその他の引当金が増加したことによるものです。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の投資活動により減少した資金は4億10百万円（前年同期は2億87百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得支出によるものです。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間の財務活動により減少した資金は12億76百万円（前年同期は3億17百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済や配当金の支払によるものです。

## (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (3) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、92,717千円です。なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	82,600,000
計	82,600,000

###### ②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成28年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成28年11月11日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,650,731	20,650,731	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	20,650,731	20,650,731	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成28年7月1日～ 平成28年9月30日	—	20,650,731	—	1,441,669	—	942,292



## (6) 【大株主の状況】

平成28年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
公益財団法人はごろも教育研究奨励会	静岡市清水区辻 1-1-1	8,783	42.53
はごろも高翔会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	1,508	7.30
後藤康雄	静岡市清水区	1,300	6.30
株式会社静岡銀行	静岡市葵区呉服町 1-10	583	2.82
農林中央金庫	東京都千代田区有楽町 1-13-2	583	2.82
はごろもフーズ従業員持株会	静岡市清水区島崎町151 はごろもフーズ株式会社内	353	1.71
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋 2-5-2	300	1.45
木内建設株式会社	静岡市駿河区国吉田 1-7-37	270	1.31
三井物産株式会社	東京都千代田区丸の内 1-1-3	217	1.05
東洋製罐グループホールディングス株式会社	東京都品川区東五反田 2-18-1	172	0.83
計	—	14,071	68.14

(注) 上記のほか、自己株式が1,826千株あります。

## (7) 【議決権の状況】

## ① 【発行済株式】

平成28年9月30日現在

区分	株式数 (株)	議決権の数 (個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式 (自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式 (その他)	—	—	—
完全議決権株式 (自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,826,000	—	—
完全議決権株式 (その他)	普通株式 18,737,000	18,737	—
単元未満株式 (注)	普通株式 87,731	—	1 単元 (1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	20,650,731	—	—
総株主の議決権	—	18,737	—

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式235株が含まれています。

## ② 【自己株式等】

平成28年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
(自己保有株式) はごろもフーズ株式会社	静岡市清水区 島崎町151	1,826,000	—	1,826,000	8.84
計	—	1,826,000	—	1,826,000	8.84

(注) 第2四半期会計期間末日現在の自己株式数は1,826,235株です。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）にもとづいて作成しています。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定にもとづき、第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人双研社による四半期レビューを受けています。

## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,668,715	1,672,075
受取手形及び売掛金	16,227,241	17,450,119
商品及び製品	6,171,801	6,328,264
仕掛品	73,977	57,300
原材料及び貯蔵品	3,271,216	3,271,082
その他	2,353,162	2,054,268
貸倒引当金	△3,931	△847
流動資産合計	29,762,183	30,832,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,959,552	3,857,981
土地	3,549,245	3,549,245
その他（純額）	1,521,551	1,738,014
有形固定資産合計	9,030,349	9,145,240
無形固定資産	409,840	412,842
投資その他の資産		
投資有価証券	6,015,463	5,925,872
その他	395,120	567,935
貸倒引当金	△9,894	△3,098
投資その他の資産合計	6,400,689	6,490,709
固定資産合計	15,840,879	16,048,792
資産合計	45,603,062	46,881,056
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,521,392	13,368,336
未払金	4,493,227	3,182,337
未払法人税等	737,256	700,126
売上割引引当金	30,494	74,178
販売促進引当金	2,659	1,288,396
賞与引当金	346,009	392,033
役員賞与引当金	38,200	—
その他	980,523	1,127,517
流動負債合計	19,149,764	20,132,926
固定負債		
長期借入金	2,000,000	1,000,000
役員退職慰労引当金	632,365	650,674
退職給付に係る負債	236,864	314,805
資産除去債務	17,000	17,000
その他	821,648	846,016
固定負債合計	3,707,878	2,828,496
負債合計	22,857,643	22,961,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,441,669	1,441,669
資本剰余金	942,429	942,429
利益剰余金	21,306,294	22,604,308
自己株式	△2,156,319	△2,158,578
株主資本合計	21,534,073	22,829,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,975,569	2,009,111
繰延ヘッジ損益	△178,694	△182,565
為替換算調整勘定	18,160	△209,979
退職給付に係る調整累計額	△603,689	△526,761
その他の包括利益累計額合計	1,211,345	1,089,804
純資産合計	22,745,419	23,919,632
負債純資産合計	45,603,062	46,881,056

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	39,321,511	41,473,711
売上原価	25,386,986	26,155,259
売上総利益	13,934,524	15,318,452
販売費及び一般管理費	※ 12,219,812	※ 13,247,119
営業利益	1,714,711	2,071,332
営業外収益		
受取利息	42	31
受取配当金	57,047	62,177
持分法による投資利益	48,598	48,896
賃貸料収入	41,070	38,546
その他	42,876	45,151
営業外収益合計	189,635	194,804
営業外費用		
支払利息	15,682	11,499
賃貸収入原価	29,507	20,968
支払手数料	—	17,961
その他	11,797	14,502
営業外費用合計	56,988	64,932
経常利益	1,847,358	2,201,204
特別利益		
固定資産売却益	899	2,179
特別利益合計	899	2,179
特別損失		
貸倒引当金繰入額	1,185	—
固定資産除却損	22,695	1,090
投資有価証券評価損	960	—
災害による損失	—	2,142
たな卸資産廃棄損	9,065	—
特別損失合計	33,907	3,233
税金等調整前四半期純利益	1,814,351	2,200,150
法人税等	582,688	666,807
四半期純利益	1,231,663	1,533,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,231,663	1,533,343

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,231,663	1,533,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198,779	33,542
繰延ヘッジ損益	△180,145	△3,870
退職給付に係る調整額	△5,210	43,895
持分法適用会社に対する持分相当額	24,009	△195,108
その他の包括利益合計	△360,125	△121,541
四半期包括利益	871,537	1,411,801
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	871,537	1,411,801
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,814,351	2,200,150
減価償却費	404,071	381,948
災害損失	—	2,142
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,686	△9,880
その他の引当金の増減額 (△は減少)	1,185,098	1,355,553
受取利息及び受取配当金	△57,089	△62,208
支払利息	15,682	11,499
為替差損益 (△は益)	965	430
持分法による投資損益 (△は益)	△48,598	△48,896
売上債権の増減額 (△は増加)	△699,264	△1,222,878
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,406,990	△273,129
未収入金の増減額 (△は増加)	193,723	210,414
仕入債務の増減額 (△は減少)	171,776	846,943
未払金の増減額 (△は減少)	△1,961,519	△1,390,700
その他	143,948	347,012
小計	△239,160	2,348,403
利息及び配当金の受取額	57,090	62,208
利息の支払額	△16,084	△8,372
災害損失の支払額	—	△2,142
法人税等の支払額	△25,841	△710,128
法人税等の還付額	26,769	764
営業活動によるキャッシュ・フロー	△197,225	1,690,732
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△263,325	△368,317
投資有価証券の取得による支出	△9,846	△1,866
貸付金の回収による収入	1,130	926
その他	△15,603	△40,915
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,644	△410,173
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△140,000	△1,000,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△35,673	△39,310
自己株式の取得による支出	△268	△2,258
配当金の支払額	△141,206	△235,329
財務活動によるキャッシュ・フロー	△317,148	△1,276,898
現金及び現金同等物に係る換算差額	△775	△300
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△802,793	3,359
現金及び現金同等物の期首残高	1,508,072	1,668,715
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 705,278	※ 1,672,075



【注記事項】

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正にともない、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ363千円増加しています。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しています。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要なもの

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
販売奨励金	6,616,957千円	7,018,539千円
販売促進引当金繰入額	1,207,572	1,288,396
広告宣伝費	474,575	780,400
荷造運賃	991,734	1,057,614
給料及び手当	773,538	781,331

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
現金及び預金勘定	705,278千円	1,672,075千円
現金及び現金同等物	705,278	1,672,075

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)  
配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成27年6月26日の第86期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,206千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成27年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成27年6月29日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

平成27年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,204千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成27年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成27年12月4日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)  
配当に関する事項

(1) 配当金支払額

平成28年6月29日の第87期定時株主総会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	235,329千円
(ロ) 1株当たり配当額	12円50銭 (うち創業85周年記念配当5円を含む)
(ハ) 基準日	平成28年3月31日
(ニ) 効力発生日	平成28年6月30日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

平成28年11月11日開催の取締役会において、次のとおり決議しています。

・普通株式の配当に関する事項

(イ) 配当金の総額	141,183千円
(ロ) 1株当たり配当額	7円50銭
(ハ) 基準日	平成28年9月30日
(ニ) 効力発生日	平成28年12月5日
(ホ) 配当の原資	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)および当第2四半期連結累計期  
間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

当社グループは、食品事業およびこの付帯事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

(金融商品関係)

長期借入金が、企業集団の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

前連結会計年度（平成28年3月31日）

科目	連結貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
長期借入金	2,000,000	2,018,830	18,830

当第2四半期連結会計期間（平成28年9月30日）

科目	四半期連結貸借対照表 計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
長期借入金	1,000,000	1,012,492	12,492

(注) 金融商品の時価の算定方法

長期借入金

元利金の合計額を、同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	65円42銭	81円45銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (千円)	1,231,663	1,533,343
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純 利益金額 (千円)	1,231,663	1,533,343
普通株式の期中平均株式数 (株)	18,827,533	18,825,519

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

## 2 【その他】

平成28年11月11日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しています。

(イ) 中間配当による配当金の総額 141,183千円

(ロ) 1株当たりの金額 7円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 平成28年12月5日

(注) 平成28年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

平成28年11月10日

はごろもフーズ株式会社

取締役会 御中

監査法人双研社

代表社員 公認会計士 渡辺 篤 ㊞  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 貴志 豊 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているはごろもフーズ株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成28年7月1日から平成28年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、はごろもフーズ株式会社及び連結子会社の平成28年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. X B R Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。